

問題番号	経由団体	問題点	問題点の内容	状況	要望	準拠法
2. 輸出入規制・関税・通関規制・物流						
1	日機輸	高輸入関税	・バングラデシュへの製品の輸入に対し、課せられている関税が非常に高額である。(最高税率のもので837%)。自動車等、特に機械系の製品に課せられている輸入関税が高額であり、日系企業にとって投資阻害要因となっている。	継続	・高額輸入関税の見直し。	
2	日機輸	恣意的な関税適用	・中古車輸入業者によるアンダーバリューが発生しており、新車販売ビジネスにも悪影響が及んでいる。	継続	・税関にはアンダーバリューの取り締まりや適正な輸入価格の査定をお願いしたい。	・関税ブック及びその運用
3	日機輸	通関手続の煩雑・遅延	・日本ODAに基づく機材輸出に関してバングラデシュでは輸入税の支払いが必要であるが、バングラデシュ施主側の輸入税の支払遅延が発生・長期化し、通関遅延が生じる。	継続	・省庁間のスムーズなコミュニケーション。	・関税ブック
4	医機連	FTAオリジナル書類の送付	・オリジナル書類の送付が必要。輸送金額、供給リードタイムの調整業務が発生。	継続	・電子化(PDF)→日本と同ルール化。	
5	電機工	海上保険付保	・弊社は第三国EPCとバングラ向け機器提供のCIF契約を締結した後、バングラでは海上保険の付保規制があることが判明。最新のImport Policyはベンガル語版しかなく、日本側保険会社による付保可否の確認で混乱した。	継続	・Import Policy Order 2021-2024 英語版の発行。	・Import Policy Order 2021-2024第二章第五条5項
6	日機輸	物流インフラの未整備	・チョットグラム港の未整備により、大型貨物船の入港が出来ず、東アジアからの貨物はシンガポールでの積み替えを余儀なくされるだけでなく、港湾荷捌き能力の低さから、輸入原材料引き取りは本船到着後出荷先到着に2週間を要している。 深刻な交通渋滞により非効率なオペレーション・行動日程を余儀なくされ、海外企業にとって投資の阻害原因となっている。 短納期対応が世界の潮流となっており、これらの欠点が競合国対比クローズアップされ、最重要輸出品目である縫製品輸出の成長阻害になり得る。	継続	・至急必要なインフラ整備を行うよう、バングラデシュ政府へ働きかけ頂きたい。	
4. 為替管理・金融						
1	医機連	外貨出金規制	・バングラデシュ子会社における、シンガポール拠点に対する親子ローンの繰り上げ返済が認められない。	継続	・シンガポール拠点に外貨での親子ローンに対する繰り上げ返済を許可して頂きたい。	
2	日機輸	海外送金の遅延	・海外へのアドバイザーフィー支払等、海外への支払送金に時間がかかり支払遅延が発生、これが繰り返されるとバングラデシュ案件に対してネガティブになる等、案件推進の障壁となる。	新規	・海外送金の自由化を進めて欲しい。	
3	日機輸	金融手続の遅延	・LC支払遅延等の送金・決済手続きに問題があることは、頻繁に指摘されているが、それ以外の手続きも全て時間がかかっており、行内での情報共有・迅速な手続きが求められる。 例えばPerformance bondの金額・期限変更一つとっても、担当者が長期不在にしている場合、全く手を付けられないことが多い。また、担当者へのメール・電話でのコンタクトを試みても、無反応のことが多々ある。手続きだけの為に、直接訪問しなければならないのは非常に非効率である。	継続	・行内での情報共有(担当者を複数人配置する等)、迅速なレスポンス・手続きを要請。	
4	日機輸	銀行決済の遅延	・バングラディッシュ側のL/C開設者(輸入者)がOpening Bank(バングラディッシュの民間銀行)に対して支払済にも関わらず、Opening銀行が支払いを1~3カ月程Advising銀行(邦銀)への支払いを停止している。	継続	・支払期日の厳守。	
5	日機輸	L/C決済の遅延	・原材料輸入L/Cの決済日確定について、原材料輸入には120日ユーザンス付きL/Cが開設されることが大半のケース。 一覧後120日払いのL/C船積み(実態はL/C開設銀行確認後120日)と船積み段階でDUE DATEを確定できず、実質は船積み後150-160日の決済となるケースが多い。中国等海外原材料メーカーにはバングラデシュL/Cの接受を断る会社が多い。	継続	・長年の慣習であり変更は難しいが、国際標準へ近づくべく働きかけて頂きたい。 ・信用にかかわる問題であり金融当局に改善を強く申し入れて頂きたい。	

※経由団体：各団体の意見がどの団体を経由して提出されたかを表したものであり、表示団体を代表する「主張」「総意」等を意味するものではありません。

問題番号	経由団体	問題点	問題点の内容	状況	要望	準拠法
			ユーザンス無し的一般輸入L/Cについても決済遅延が散発。輸入者からは銀行の外貨不足が問題との説明で、支払遅延は仕方がないというような対応。			
6	日機輸	L/C開設の制限	・2022年半ばから顕在化した外貨準備高減少に伴い、輸入L/C開設に多くの日数がかかっている。2023年は外貨準備高の減少傾向に歯止めがかからず更に状況悪化し、バングラデシュ向け取引を見送るサプライヤーもあり。	継続	・経済の停滞が顕在化。状況打開のための柔軟な政策運用をお願いしたい。	
7	印刷機械	L/C開設の困難	・バングラデシュ銀行からJPY建てL/Cを開設する際、 ①JPYと100%同額のBDTを預けない限り、バングラデシュの銀行はL/Cを開設してくれない。 ②日本の殆どの銀行がバングラデシュ銀行から開設されたL/Cを受け取ってくれない。	新規	・バングラデシュ銀行が客先に与信を与えて欲しい。 ・また、日本の銀行もバングラデシュ銀行のL/Cを受け取って欲しい。	
8	日機輸	不良債権区分	・中央銀行による不良債権の区分が、支払期日到来後から下記の様に区分されている。民間銀行は海外への支払いを行わず、不良債権を出している企業は存続している。そもそも期日通りに支払わないことを認めている。 -3カ月以内：Special mentioned account -3～6カ月：Low quality default loan -6～9カ月：Suspicious default loan -9～12カ月：Bad default loan	継続	・支払期日の厳守。	・中銀通達 (Prudential regulation for banks selected issues of Jan, 2014)
5. 税制						
1	日機輸	新旧VAT法による二重課税	・【問題点】 新VAT法が施行されたものの、インプットVATの控除において旧VAT法との整合性が取れていない部分があり、混乱を引き起こしている。その結果、VATの二重課税が発生している。 【改善が図れた点】 2019年11月、日本大使館主導でバングラデシュ国政府・蔵入庁 (NBR) との折衝が為され、既存案件については、旧VAT法における二重課税防止条項が適用されることが確認された。一方、資材の供給については対象外との見解があり、以前としてVATの二重課税問題は残っている。	継続	・二重課税の防止。	・ The Value Added Tax and Supplementary Duty Act, 2012 ・ The Value Added Tax and Supplementary Duty Rules 2016
7. 駐在員・出向者等に関する問題						
1	日機輸	セキュリティクリアランス取得の煩雑さ	・駐在員のWork Permitの取得については以前と比較しスムーズになっているが、セキュリティクリアランスの取得に時間がかかり、結果、ビザの延長ができず、海外出張など出国、入国に支障が出ている。	新規	・セキュリティクリアランスの取得手続きの透明化、迅速化して欲しい。	
8. 知的財産制度運用						
1	時計協	商標権出願審査の長期化・手続の不備	・商標登録出願の審査に時間がかかり過ぎる。同国の模倣品対策強化するために、2013年に商標登録出願を行ったが、2022年時点、審査通知が未着である。(意匠権は、出願から1-2年で迅速に登録されている)	継続	・審理の迅速化。	
2	日機輸	商標権出願審査の長期化・手続の不備	・商標の登録証発行までに長期間要する。商標審査で、指定商品について誤記があり間違った指定商品で登録された。	継続	・適正な審査と迅速な対応を実施して頂きたい。	
3	日機輸	商標権更新手続の遅延	・商標の更新手続きに時間がかかりすぎる(更新手続きが完了する前に次の更新期限が訪れてしまう)。	継続	・更新手続きの迅速化を要望する。	・商標法など
10. 環境問題・廃棄物処理・炭素中立関連の諸規制						
1	日機輸	事業者が順法すべき内容の一部の不明確	・2021年6月、バングラデッシュは「Hazardous Waste (WEEE : Waste Electrical and Electronic Equipment) Management Rules 2021」を公布したが、事業者が順守すべき内容の一部(情報開示の要領や、EU RoHSでは認められている除外規定の現地での認否など)が不明確であることを懸念している。	継続	・法令を遵守した事業展開を継続するためにも、順法対応手順を明確化した公式なガイドラインなどを現地当局が早期に発行するようお願いしたい。	・ Hazardous Waste (Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE)) Management Rules 2021

※経由団体：各団体の意見がどの団体を經由して提出されたかを表したものであり、表示団体を代表する「主張」「総意」等を意味するものではありません。

問題番号	経由団体	問題点	問題点の内容	状況	要望	準拠法
99. その他						
1	日機輸	エネルギー政策の不合理的	・天然ガスの需給バランスの継続的供給不足が続いており、ガス自家発が一般的な繊維工場やガスを原料とする肥料産業等の開発にもボトルネックとなっている。 エネルギー省の一存で出来るガス価格の値上げが不定期に起こっていること、および外貨不足によりLNGを安定調達出来ず、ガス供給量が不十分となっていることにより、安定した事業計画を立てづらくなっている。	継続	・「ガス供給」及び「産業に応じた事業性を維持できるレベルでのガス価格合意」を政府に働きかけ頂きたい。	
2	日機輸	不当な金銭要求	・腐敗認識指数ランキングが2022年から2ランク後退し180か国中149位となったように腐敗撤廃・防止は進んでいない。輸入通関時などに、コンプライアンス上問題となる金銭の要求をされるケース等、営業活動が阻害されている模様。	継続	・ハラスメント防止策・モラル向上策を徹底するようバングラデシュ政府に促して欲しい。	